

第5回 インターンシップ・面接に欠かせないビジネスマナー講座

日時：2019年6月25日（火） 16:20～17:50

場所：文学部B251講義室

講師：ユニゾネット 加賀田 瑞恵先生

今回のリテラアワーでは、ユニゾネットの加賀田先生に、インターンシップ・面接試験直前対策として、ビジネスマナーについてご指導をいただきました。

コミュニケーションには、「発信力（伝える力＝話す力）」と「受信力（受け取る力＝聞く力）」の両方が必要です。まずは、「あなたの○○○を一分間で話してください」という内容で、①返事、②P:POINT（要点）、③R:REASON（理由）、④E:EXAMPLE（実例）、⑤P:POINT（要点）の手順を踏まえ、ペアワークを行います。その際、聞き手が「相手の目を見て相槌を打ちながら共感しつつ聞く」パターンと、「相手と目を合わせずに無表情、無反応でやる気なく聞く」パターンの両方を試してみます。聞き手の状態によって、話す側の気持ちが大きく左右されることがわかります。話す練習はもちろん大切ですが、普段から聞く姿勢にも気をつけておくことが必要です。

話す際のマナーとしては、適切な順序で話を進める、正しい日本語を使う、表情やしぐさを意識する、落ち着いた話し方を心がける、といったことに気をつけるとよいでしょう。コミュニケーションには、言葉だ

けでなく、ボディランゲージや身だしなみなども含まれます。「身だしなみ」は、自分中心の「おしゃれ」とは異なります。相手からどう見られるかを意識して、清潔感やTPOに気を配りましょう。またインターンシップの際には、特に「ハウレンソウ（報告・連絡・相談）」に注意することも必要です。

聞く際のマナーとしては、聞く姿勢を正す、話の腰を折らない、相槌を打ったり目線を送ったりする、つまり全身で聞くことが大切です。インターンシップの際には、メモを取ることや、話の最後に復唱をしたり質問をしたりすることにも気をつけておきましょう。

身だしなみ、仕草、声のトーン、おじぎ、言葉遣いなど、すべてがこうした「マナー（他者への気遣い）」を意識したコミュニケーションだと考えれば、おのずとルールがわかってくるものだと、先生は説明されました。最後は、皆で円を作り、発声練習、挨拶の練習、お辞儀の練習などが行われ、和やかな雰囲気の中、講座は終了しました。

今回のマナー講座は、就職活動に役立つだけでなく、日頃のコミュニケーションを考え直すきっかけにもなったようです。

最後に、アンケートの中から、感想をいくつかご紹介します。

「マナーについて、自分が気づいていない点に気づくことができた。」

「マナーについて改めて確認でき、自分の普段の生活を考え直すきっかけにもなった。」

「具体的に何をどうすればよいのか、理解が深まった。」

「普段何気なく使っている言葉の間違いに気づくことができた。」

参加者：学部・大学院生 28名、教職員3名

就職そして社会人への道 ①

インターンシップ、面接に欠かせない実践！ビジネスマナー講座

2019. **6.25** 火
16:20~17:50

場所：文学研究科 B251講義室
講師：ユニゾネット主宰
加賀田 瑞恵先生

概要

- 面接や社会人との会話の場面ですぐに活かせるコミュニケーション
- 第一印象向上のポイント
・面接やインターンシップ時の身だしなみをチェック
・ビジネスマナーの基本の習得

服装は自由ですが、面接試験が近い人・インターンシップ参加予定者は、スーツの着用をお勧めします。

「面接試験やインターンシップの事前準備に役立った!」と、これまで参加して下さった輩方からも大好評を得た実践的な講座です。友だちを誘ってぜひご参加ください。

全学部全学年対象 特に、公務員・教員採用試験受験者・インターンシップ参加予定者 日本での就職活動を検討している留学生